



▲人権教育についての講演を聞く教職員たち

人権問題の解決に向けて 令和6年度上益城郡学校人権教育研究会

8月22日（木）、甲佐町生涯学習センター・ホールを主会場として、令和6年度上益城郡学校人権教育研究会が開催されました。同研究会は、同和問題などの人権問題の解決に向けて、教職員の基本的認識の確立と人権教育の充実、発展を目的としており、上益城郡内の教職員は、講演や分科会を通して人権教育の重要性についての理解を深めました。



▲沿線市町村の代表としてアピールを行う甲斐町長

九州中央自動車道の早期全線開通を要望 九州中央自動車道建設促進地方大会

8月20日（火）山都町総合体育館パスレルで九州中央自動車道建設促進地方大会が開催され、熊本県、宮崎県の知事、沿線市町村の首長や住民ら約450人が参加しました。同大会では、甲斐町長が沿線市町村の代表として沿線アピールを行い、地域産業の発展や観光振興における同路線の早期全線開通の重要性を訴え、沿線市町村のさらなる連携強化を確認しました。



▲志水副社長（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

9月4日（水）町本庁舎で、本町へ寄附いただいた株式会社三浜測量設計社（熊本市・志水共一代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からの寄附は昨年度に続き2回目。寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲公緑川河川整備計画（変更原案）の説明を聴く参加者ら

人と川が共生する未来に向けて 緑川水系河川整備計画（変更原案）公聴会

8月23日（金）甲佐町生涯学習センター・ホールで、国交省と熊本県より、緑川の川づくりのための計画「緑川河川整備計画（変更原案）」についての公聴会が開催されました。変更計画では、気候変動による影響を踏まえることと、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水害を軽減させる「流域治水」への転換を図り、河川整備をより一層推進していきます。



▲各小学校の代表者によるリレーで競う児童たち

自分の記録に挑戦 第42回甲佐町学童陸上記録会

9月18日（水）甲佐小学校で第42回甲佐町学童陸上記録会が開催されました。同記録会は町内の児童の競技力向上を目指し、自己の記録に挑戦し、友達の技術を参考にする機会および児童間の交流の機会とする目的で町教育委員会が主催。小学校5・6年生が100㍓、800㍓、4×100㍓リレーに出場し、自分の記録に挑戦しました。

水陸二刀流に挑戦 第2回熊本甲佐アクアスロン大会

8月25日（日）熊本甲佐総合運動公園で第2回熊本甲佐アクアスロン大会が開催されました。

アクアスロンとは、トライアスロンからバイク（自転車）を除いたものであり、スイムとランを続けて行い、その合計タイムを競う複合競技。熊本甲佐アクアスロン大会実行委員会が川に親しむ機会を作ることを目的に主催。

同大会は、小学1～2年生、3～4年生、5～6年生、中学生、高校生以上の部までの5つの部門に分かれており、県内外から183人が競技に参加しました。開会式の後にはくまモンが応援に駆け付け、出場する選手たちと一緒に体操を行うなど、会場を盛り上げました。

晴天に恵まれ強い日差しが降り注ぐなか、競技がスタート。選手たちは観客やスタッフからの声援を受けながら、ライバル達との熱いレースを繰り広げ、自身の限界に挑戦しました。



▲ドライバーに交通安全のチラシを配布する交通指導員

交通事故を防ぐために 秋の全国交通安全運動

9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間、秋の全国交通安全運動が行われました。同運動は、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施。本町では、車を運転するドライバーへ交通指導員らが事故防止の呼びかけを行ったり、町内各地の交差点で、登校する児童が安全に通学路を通行できるよう交通整理や声掛けを実施しました。

▼勢いよくスタートして緑川をスイムする選手たち



▲ゴールを目指して走る選手たち



▲スイムを終え、ランコースにむかう選手たち